

地域における琉球銀行

地域とともに

社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会貢献活動も地域金融機関の重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

～経済と環境について学ぼう～ 「りゅうぎんキッズスクール」



熱心にゲームに取り組む生徒たち

琉球銀行では、県内の小学生に対する金銭教育を目的として、毎年夏休み期間中に小学校高学年の生徒を対象に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。経済の仕組みやお金の流れ、銀行の役割などをゲームを通して楽しく学ぶもので、参加児童、父母から好評を得ています。今年も、自然環境やアウトドアについて学ぶ「環境ミニセミナー」とあわせて開催する予定で、継続的なCSR活動の一つとして位置付けています。



ナイスハートバザールに多くの当行職員がボランティア参加

「りゅうぎんユイマール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「りゅうぎんユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。

平成22年度は、「沖縄県共同募金会」、「沖縄県交通遺児育成会」などへの寄付のほか、甚大な被害を受けた東日本大震災の被災者を支援するための義援金を日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈しました。

また、国際親善交流特別演奏会「アレクサンダー・ライチェフ ピアノ・リサイタル」の入場チケットを財団法人沖縄県セルフセンターに贈呈したほか、障がい者の自立促進を目指すイベント「ナイスハートバザールイン沖縄」に特別協賛し、その運営を支援しました。



東日本大震災被災者へ義援金を贈呈

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、301件、1億3,696万円となりました。（平成23年6月現在）

地域における琉球銀行



第16回宇流麻福祉基金助成金授与式
「宇流麻福祉基金」
(助成実績109件、4,392万円 平成23年6月現在)



第13回源河朝明記念那覇市社会福祉基金助成金授与式
「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」
(助成実績125件、6,304万円 平成23年6月現在)

公益信託による社会貢献(公益信託事務局)

琉球銀行は、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。



オープニングセレモニー



第19回りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

りゅうぎん紅型デザインコンテスト

琉球銀行は、芸術・文化活動支援の一環として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。

※第17回(平成20年)に事業名を従来の「りゅうぎん紅型デザイン公募展」から「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」に変更しています。



東日本大震災による被害への支援対応について

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。琉球銀行では、被災者支援と災害復興支援の一環として、以下の取り組みを実施しております。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

◆預金払戻し等のお取り扱い

- ・預金証書、通帳、キャッシュカード、届出の印鑑を紛失された場合は、ご本人であることを確認のうえ、お支払いいたします。
- ・定期預金などの期限前の払い戻しについても、ご相談を承ります。
- ・震災の影響で支払期日が経過した手形については、取立ができるよう関係金融機関と調整いたします。
- ・窓口にて、被災により汚れた紙幣のお引き換えをいたします。
- ・国債を紛失された場合は、窓口までご相談ください。

◆ご融資等への円滑な対応

震災により直接的、または間接的※に事業に影響を受ける恐れがあるお客さまにつきましては、お客さまの実情を踏まえながら、適切な資金供給やご返済の猶予等に努めさせていただきますので、下記の窓口までご遠慮なくご相談ください。

※《間接的な影響の例》

- ・得意先や仕入先が被災している
- ・被災地に生産・販売拠点等がある
- ・観光客の減少により売上の減少が見込まれる 等

◆東北地方在の地方銀行等預金者への預金払戻し対応

被災により沖縄県へ避難されている方で、東北地方在の地方銀行等とお取引をされているお客さまにつきましては、お取引されている東北地方在の地方銀行等と個別に調整のうえ、預金の払戻しについて対応しておりますので、窓口までご相談ください。

◆東邦銀行のお客さまへ通帳再発行などの手続きを開始

平成23年7月7日より、沖縄県へ避難されている東邦銀行(本店：福島県福島市)のお客さまを対象として、紛失した通帳・証書・キャッシュカードの再発行手続きや改印手続きなどを当行窓口にて受け付けております。

《ご相談窓口》

相談窓口	平日	土・日	祝日・大晦日
全営業店 ※出張所、東京支店除く	9:00～16:00	休業	休業
ローンサポートセンター (ダイヤル)0120-63-1189	9:00～17:00	10:00～17:00	休業

◆義援金贈呈①

琉球銀行およびりゅうぎんユイメール助成会は、平成23年3月14日、義援金500万円を日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈いたしました。

◆義援金贈呈②

琉球銀行および琉球銀行労働組合は、平成23年3月23日、街頭募金活動により集まった募金約100万円を義援金として日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈いたしました。

◆営業店窓口への募金箱設置

平成23年3月17日より、琉球銀行の全営業店71店舗(出張所を含む)に募金箱を設置し、義援金を受け付けております。集まった義援金は日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈いたします。
贈呈実績 530万円 <平成23年7月現在>



◆定期預金を活用した東日本大震災復興支援(義援金)

平成23年5月10日から9月30日までの期間、対象となる定期預金の新規預入総額0.1%相当額(最大2,000万円)を当行負担で義援金として日本赤十字社へ贈呈いたします。この取り組みにより、6月から毎月義援金を贈呈することで、継続的な支援に取り組んでまいります。
贈呈実績 1,507万円 <平成23年7月現在>

◆救援物資の提供

琉球銀行および関係会社各社は、総額500万円相当の救援物資を被災地に提供いたしました。

物資提供地域：東北地方3県(福島県、宮城県、岩手県)

物資提供時期：3月下旬から4月上旬にかけて、3回にわたり提供。

救援物資：県産品を中心に飲料、食料など

提供各社：(株)琉球銀行、(株)琉球リース、(株)リウコム、(株)りゅうぎんディーシー、りゅうぎん保証(株)、(株)人材派遣センターオキナワの6社



救援物資出発式

救援物資に応援メッセージを添えて送りました



◆被災地支援チャリティーコンサートに募金ボランティアとして参加

平成23年4月10日に宜野湾市コンベンションエリアを中心として開催された東北関東大震災支援チャリティーコンサート「what a wonderful world ～がんばれ東北！がんばれ日本！～in OKINAWA」に、当行役職員ならびにその家族・友人総勢約250名が募金ボランティアとして参加し、来場者に募金を呼びかけました。

集まった募金は、全額が主催者側より被災地へ義援金として贈呈されました。

